

3.11 放射能汚染の 現実を超えて

子どもたちの未来と大人たちの責任

世界最悪レベルの原発事故から4年たった今、この国では、まるで事故などなかったかのように、原発再稼働の動きが進んでいます。事故の責任をだれ一人とらないまま、被災者救援はなおざりにされ、因果関係が認められないまま、甲状腺がんの子どもは異常な高率で発症しています。この悪夢のような現実の中で、私たちはどう生き、そして、未来への責任をどうすれば果たせるのでしょうか。原子力の専門家として40年以上にもわたり原発の危険性を訴え続けてきた行動する学者、小出裕章さんとともに考えます。

7月11日 土

13:30～16:30 (開場13:00)

講師 小出 裕章 さん

<報告> 水戸喜世子 さん
(子ども脱被ばく裁判の会・共同代表)

会場: サンシビック尼崎

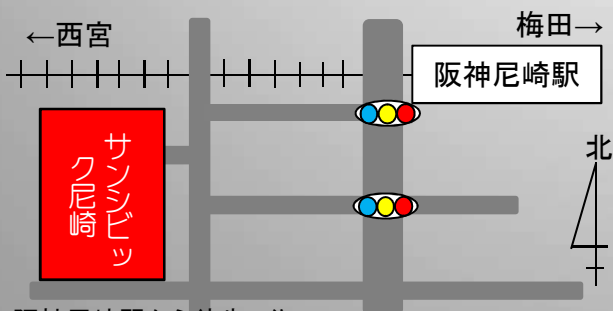
参加費: 1,000円(前売) 1,200円(当日)

【高校生・障がい者・避難者】半額

☆手話通訳を希望される方は、要申し込み。6月10日まで



写真撮影: 松岡広樹



阪神尼崎駅から徒歩5分

尼崎市西御園町93-2 TEL 06-6413-8171

私たちは尼崎近辺に住む市民一人ひとりの集まりです。メンバー募集中! 仲間になりませんか♪

講師 プロフィール

1949年 東京生まれ. 元 京都大学原子炉実験所助教. 原子力の平和利用を志して1968年東北大学工学部原子核工学科に入学するも、原発が差別の構造で成り立っていることを知り、原子力に反対する立場で訴え続けている。行動する学者。

さいなら原発尼崎住民の会

連絡先: 090-7497-3307 (広畑)

amaigo@docomo.ne.jp Fax06-6426-8481